



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第7号
平成29年11月13日
校長 松丸 晴美

「Heartfelt Thanks and To the Future」 ～心からの感謝 そして 未来へ～

高く澄んだ青空に、1年生が丹精込めて育てた大輪の菊の花が彩りを添えた11月3日（金）、練馬区長 前川耀男様、河口浩教育長様を始め、多くの地域や学校関係者の皆様のご臨席を賜り、卒業生・保護者合わせて約300名が一堂に会し本校の開校70周年を祝う記念式典を盛大に挙行することができました。

本校がこのように発展し今日の日を迎えることができましたのも、これまでの長きにわたる皆様方の温かいご支援とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。



以下、当日の式辞を抜粋して紹介いたします。

『本校は、昭和22年（1947年）4月、戦後の新しい学校制度発足のもと「板橋区立石神井西中学校」として、豊玉中学校と併設され、125名の新入生を迎え開校しました。

当時の日本はお金も物資も極度に不足しており、間借りしていた都立石神井高校の教室には椅子も机もなく、生徒は、ほこりだらけの床に直に座り、上質とはいえない紙に印刷された教科書やノートを自分たちで裁断して、綴じたり折り畳んで使用するなど、今では考えられないほど厳しい学習環境の中でのスタートでした。

学校だけではなく、社会全体が貧しく、服や履物、食べる物も不足していました。

しかし、暗く長い「戦争」というトンネルから抜け出し、自由に自分の考えを述べて行動できる、明るい希望の時代が到来した喜びは大きく、生徒たちは、勉強に運動・文化芸術活動にと、若いエネルギーを思う存分燃やし、澁漑と学校生活に取り組んだそうです。

3か月後の8月1日には練馬区が独立し、校名が「練馬区立石神井西中学校」に変更されました。当時の中学校は、どこも小学校や高等学校を間借りしており、「自分たちだけの学校」を建てることは悲願でした。

関町と呼ばれたこの地域でも、校長先生やPTA会長、有志の方々が区長さんや区役所に何度も何度も熱心に働きかけ、ついに翌年度校舎建築の予算をつけてもらうことができました。

しかし、音楽室などの特別教室や教材・教具を揃えるまでの予算はつかず、学校では子ども達により良い学習環境をと強く願い、地域の有志の方々とともに協賛会を設立して地元始まって以来といわれる大募金を行うことにしました。

理事の方々は地域の家を一軒一軒訪ねて寄付のお願いにまわり、PTAでも廃品回収や映画会の上映などで資金を集め、生徒もチケットを販売するなど、まさしく、校歌の3番の歌詞に「力合わせて働こう」と歌われているように、地域・保護者・生徒・教職員が総力を結集して資金作りに励み、開校2年目の6月、念願の新校舎完成と、生徒用の机やイス、ピアノ・図書、運動や実験の用具など、授業や活動に必要な備品の整備が実現しました。

あふれる喜びのもとで始まった新校舎での学校生活でしたが現在の鉄筋の立派な校舎とは違い、なにしろ物資が不足していた時代の木造の

建物です。廊下も階段も、教室の扉や窓枠もガタガタ。時には床が抜け、風の強い日は吹き込んだ砂で教室内がかすみ授業もままならないこともあったそうです。また、野球場が2つとれるほど広い校庭は手つかずのままこぼこで、雨が降ると一面湖のような水たまりになり、夏は背丈くらいの雑草だらけになるなど様々な困難があったそうです。

しかし、先生方や保護者、地域の人たちは、石神井西中学校を日本一の学校にしようと、一丸となって学校づくりに励まれました。

その熱意と期待に応え、生徒たちもあらゆる教育活動に熱心に取り組み、学力検査で区内1位、野球大会や芸能大会でも1位になるなど、そのあとに続く西中生躍進の土台となる、輝かしい実績を次々にあげていきました。

この開校当時の開拓精神が、本校の「自由と自治」の精神の中核をなすものとして代々引き継がれ、これまでに巣立った18000人をこえる卒業生の社会での活躍につながっているのだと思います。

「自由と自治」これほど高い理想に満ち、解釈が難解なものはないでしょう。ただ言えることは、相手のことを考えて行動する、思いやりの心のある自由と、自分で自分を律し、自分たちのことを自分たちの手で行っていくという自治の精神が、常に対をなしていることが、本校の「自由と自治」の特色です。生徒の皆さんには、入学してから卒業するまでの3年間、この「自由と自治」についてよく考え、友達と議論し、その精神を実践してほしいと願っています。

これから皆さんが生きていく21世紀の時代はどのような社会が待っているのでしょうか？

世界の人口は増え続けますが、日本では深刻な少子・高齢化が進み、人の手にかわるロボットや人工知能が発達し、社会人となった皆さんの働き方や人とのかかわり方にも大きな変化がもたらされると推測されます。

また、開校70年を迎えた今年は、様々な自然災害や国際的な無差別テロなど、防災のあり方や命の大切さ、人と人、国と国との望ましい関わり方について深く考えさせられる出来事が

たくさん起きています。この先もグローバル化はますます加速し、世界は多極化し、価値観の異なる人たちや他国との共存・協力なしには生き残れない時代になるのではないのでしょうか？

そのような時代にあって、日本や日本人が世界の中でどのような立ち位置にあり、どのような役割を果たしていくかは、生徒の皆さん一人一人の未来に託されています。

皆さんには、応援して下さる家族、大勢の地域や関係者の方たちの思いを大切にしながら、平和で、国際社会から尊重される日本の良き担い手となる人に成長してほしいと願っています。

結びになりますが、今日は、本校の歴史を振り返り、これまでの地域や関係者の方々のご苦勞と物心両面にわたるご支援に対し、感謝の気持ちを新たにし、未来に向けてさらに輝かしい伝統を積み重ねていくための大きな節目の日と言えます。開校70年を機に新たに制定された校訓「叡智・健康・自治・共生」の理念を具現化し、石神井西中学校が「心のふるさと」としていつまでも愛され、誇れる学校であり続けるよう、また、新しい時代にふさわしい先進的な学校として、より一層、教育活動の充実・発展が図れるよう決意を新たにし、次の100周年に向けて着実に歩んで参りたいと思います。』



式典ならびに祝賀会開催にあたっては、地域の周年事業実行委員会の皆様、同窓会そして多くの新旧保護者の皆様に多大なるご支援・ご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

今後とも本校の教育の充実・発展のために、皆様方の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【 祝賀会の様子 】



鏡わり



アトラクション（関町囃子保存会）



万歳三唱

開校70周年記念 展示発表会 「創造～個性の花を咲かせよう～」

展示発表会担当 田中俊文

11月3日（金）と7日（火）の2日間で、開校70周年記念展示発表会が開催されました。今年度は、本校の開校70周年記念式典と同時に開催されたため、例年よりも早い時期に実施しました。1日目は、11月3日（金）の11：45から13：00まで（開校70周年記念式典終了から祝賀会まで）の間は来賓や記念式典出席者の皆さまを対象として、15：00（祝賀会終了後）から17：00までの間は保護者の皆さまや地域の方々を対象として、それぞれ発表会を行いました。2日目は、平成29年11月7日（火）の午前中に、本校の生徒たちを対象として、1校時に1年生、2校時に2年生、3校時に3年生と、学年別に見学をしました。その際、9：00から12：20までの間、保護者の皆さまや地域の方々にも見学をしていただきました。発表会当日は、多くの皆さまにご来場いただき、生徒たちの日頃の取り組みをご覧いただくことができました。生徒たちにとって、大きな励みになったと思います。どうもありがとうございます。

展示発表会では、西校舎の1階から3階までの廊下や特別教室を会場に、生徒たちが各教科や総合的な学習の時間等で作成した作品を展示しました。例年よりも早い時期の開催ということで、作品を仕上げることは、必ずしも容易なことではありませんでしたが、生徒たちは一生懸命に取り組み、昨年に勝るとも劣らない展示物を用意することができました。

9月に結成された「展示会実行委員会」では、『創造～個性の花を咲かせよう～』をスローガンに掲げ、よりよい展示発表会を作り上げるために尽力しました。校内に掲示したポスターやご家庭にお配りしたチラシは、実行委員一人一人が、心をこめて作成したものです。また、会場に掲示したスローガンも、一人一人が一字一字、丁寧に手作りで作成したものを組み合わせて作成しました。一人一人の個性が輝いていて、スローガンにふさわしいものに仕上がったのではないかと思います。さらに、会場の装飾は、生徒たちが自分たちで考え、意見を出し合い、力を合わせて作成したものです。会場内には、個性豊かで華やかなお花を配置し、輪飾りでアクセントをつけました。実行委員が作った木に、来場者の方々にメッセージ入りのお花を飾っていただく「70周年個性の花を咲かせよう」も企画しました。この企画にも、多くの皆さまに参加していただき、見事、満開の花を咲かせることができました。どうもありがとうございます。さらに、1階から2階への階段に、本校のイメージキャラクター「ニシオくん」を作りました。これも、生徒たちが知恵を出し合って完成させたものです。その他にも、特別企画「ピースサインのニシオくんを探せ！」など、来場された方々に楽しんでいただ

けるような仕掛けをたくさん用意しました。実行委員の生徒たちは、必ずしも脚光を浴びるわけではありませんが、行事を作り上げる上で不可欠な仕事にも地道に取り組み、行事の成功に大いに貢献してくれました。

また、係の生徒たちも、前日の準備や片付けなどの活動に一生懸命に取り組んでくれました。おかげで、美しく見学しやすい掲示をすることができたと思います。

展示発表会当日、生徒たちが楽しみながらも真剣に見学している様子が印象的でした。展示されている生徒たちの作品には、一つ一つに、生徒たちの真摯な思いが込められていて、まさしく創造的で、個性の花を咲かせたような見事な作品ばかりでした。それらを鑑賞しあうことで、生徒たちはそれぞれの仕方で、多くの刺激を得ることができたようです。見学が終わった生徒に「今年の展示発表会はどうだった？」と声をかけたところ、「楽しかったです。最高です。」という答えが返ってきて、今年も、生徒たちにとって、よい展示発表会になってよかったと胸をなで下ろしました。

先日、校長先生から「継往開来」という言葉についてお話がありました。これは、先人の成し遂げてきたことを受け継ぎ、それを発展させながら未来の道を切り開くという意味の言葉だそうです。また、開校70周年式典の「Heartfelt Thanks and To Future」では、本校のこれまでの足跡をふり振り返り、現在の姿を見つめ直し、その未来の姿が展望されました。展示発表会も、こうした伝統の中で生まれ、今日に引き継がれてきたものの一つです。今回も、展示発表会を通して学んだことや感じたことを、これからの作品作りなどに生かし、よりよく発展させることで、未来に向けて新たな一歩を踏み出していきたいと思います。皆さんの、今後のさらなる活躍を楽しみにしています。

最後になりましたが、今回の展示発表会の成功に大いに貢献してくれた、展示会実行委員のメンバーに拍手を。また、展示発表会の準備や片付けに積極的に取り組んでくれた、係の皆さんに拍手を。さらに、展示発表会にすばらしい作品を提供してくれた、生徒の皆さんに拍手を。そして、教育関係者の方々、保護者の皆さま、地域の方々をはじめ、展示発表会に向けてお力添えをいただいた多くの皆さまにお礼の言葉を申し上げます。どうもありがとうございました。

〈展示発表会の様子〉 真剣にお互いの作品を鑑賞していました。



〈展示物紹介〉 みんな一生懸命に作りました。すばらしい作品がたくさんありました。



叡智 ～確かな学力の定着に向けて～

教務主任 日熊 昌則

年度初めの4月に、3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。国語と数学の2教科で実施され、Aは「基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているか」をみる問題、Bは「基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうか」をみる問題が出題されています。

本校の平均正答率をみると、国語・数学ともに東京都の平均と同等もしくはそれを上回る結果になっています。

この結果は、学校教育だけではなく、個々の生徒の学習意欲の高さとご家庭でのご指導の成果によるところもあると思います。

一方課題としては、数学で「知識を活用する能力」を、より高めていく必要があると考えています。

また、本校では、昨年度より教育目標に「国際的な視野をもち、人との共生を図る生徒」を加え、教育活動の重点として目標達成に取り組んでいます。日頃の生活状況のアンケートから、本校の特徴を表していると思われるものを4つ抜粋してご紹介します。各項目の単位は%です。

1：当てはまる 2：どちらかという当てはまる 3：どちらかという当てはまらない 4：当てはまらない

Q1. 人が困っているときは進んで助けている

	1	2	3	4
本 校	33.7	44.9	18.5	2.9
東京都	35.0	48.1	13.8	2.9
全 国	35.6	48.8	13.0	2.4

「困っている人を助ける」という他者への働きかけを実行できるかどうかという質問には、約8割の生徒が肯定的な回答をしています。しかし、都・全国に比べると低いので、積極的な働きかけが行えるような生徒を育てていきたいと思っています。

Q2. 人の役に立つ人間になりたいと思う

	1	2	3	4
本 校	58.0	31.2	6.8	3.4
東京都	62.6	27.7	6.2	3.2
全 国	66.1	25.8	5.3	2.5

約9割の生徒が「人の役に立ちたい」と思う気持ちをもっていることがわかります。その気持ちを実際の行動に表し、お互いに感謝の気持ちをもちあえるような、より良い学校にしたいと思っています。

Q3. 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う

	1	2	3	4
本 校	48.8	21.0	15.1	14.6
東京都	41.1	27.5	17.0	14.2
全 国	36.6	27.7	19.6	15.9

本校が積極的に取り組んでいることの1つに「国際社会の中で貢献できる生徒の育成」があります。ALT(外国語指導助手)との交流、外国人留学生の話聞く会、外国人へのインタビューなど、国際理解に関わる活動を意図的に設けてきました。その成果で、生徒の外国への興味・関心が高まったようです。

Q4. 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事についてみたい

	1	2	3	4
本 校	26.8	20.5	23.9	28.3
東京都	21.7	19.3	27.6	31.2
全 国	16.1	16.8	29.4	37.4

本校では、2020年の東京オリンピック、パラリンピックに向けての学習、日本の伝統文化を知る学習とリンクして、日本の良さを知り、外国人へ発信する力を高める学習に力を入れています。この学習を通して、将来国際社会で活躍できる人材が、1人でも多く輩出できれば嬉しいです。

平成29年度 第3学年 全国学力・学習状況調査および練馬区学力調査結果

	全国・学力・学習状況調査結果				練馬区学力調査結果		
	国語 A 主として知識	国語 B 主として活用	数学 A 主として知識	数学 B 主として活用	社 会	理 科	英 語
平 均 正答率							
本 校	83%	78%	67%	50%	58.1%	59.4%	79%
都・区平均	都79%	都74%	都66%	都50%	区52.1%	区55.3%	区73%
全国平均	77.4%	72.2%	64.6%	48.1%	55.4%	59.8%	67.4%

教科	学力調査の課題分析	具体的な授業改善策
国語	<p>都平均より A「知識」では4pt、B「活用」では6pt 上回っている。どちらも都・全国を上回る結果となった。</p> <p>観点別でも、すべての観点で平均を上回った。特に A での「読む能力」は7.3pt、B での「書く能力」は6.9pt、「言語についての知識・理解・技能」は6.7pt 上回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・語彙について、こまめに指導を行う。 ・字数にこだわらず、自分の意見や感想を書く機会を適宜設ける。柱を立てて文章展開をすること、意見文を書くことに挑戦させる。 ・考えのまとめ方の筋道をその都度示す。また、グループ学習等を行い、他の人の考えを聞くと共にまとめ方発表の仕方を学べるようにする。
社会	<p>区平均よりも 6.0pt 上回っている。基礎は6.7pt 上回るものの、活用については3pt 上回る結果となった。</p> <p>観点別でもすべての観点で平均を上回った。特に資料活用の技能について平均を6.2pt、知識・理解も6.3pt 上回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句については板書で色を変えることに加え、説明をより丁寧に行う。説明にあてる時間と、生徒の活動の時間のバランスを考えて授業作りを行う。授業内で、資料やグラフを見て読み取り、わかったことをまとめる等の作業を増やす。
数学	<p>A「知識」B「理解」とも、都平均と同じ結果となった。</p> <p>A での「数学的な技能」は0.2pt 下回り、B での「数学的な見方や考え方」は0.4pt 下回る結果となり、「基礎学力の向上」と「知識を活用する能力の向上」に課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演習量を確保し基礎・基本の定着を図る。柔軟で幅広い解を身に付けるために、視点の異なる解き方を紹介する。理解度に応じた発問を心がけ、自らの考えを述べる機会を多く設ける。個別指導のため、机間指導を増やし、互いに教え合い学習の時間を確保する。
理科	<p>区平均よりも 4.1pt 上回っている。各観点で区平均を上回っているが、全国平均と比較すると僅かに下回る結果となっている。</p> <p>特に「観察・実験の技能」では、調査の目標値を6pt 下回っているので目標値達成を目指したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察実験を重視し、仮説から考察までの流れの中で、原理原則や知識を基に考察し、自らの言葉で表現する学習活動を増やす。日常生活の中で起こる自然事象を原子や分子などの粒子の動きと関連して考えられるよう、身近な自然現象を例にして学習できるよう工夫を図る。
英語	<p>区平均よりも6pt 上回っている。各観点も5pt から7pt 上回っている。</p> <p>観点別に見ると「外国語表現の能力」は区平均より7.4pt 上回り、全国平均より13.6pt 上回る結果がでている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の文型に取り組む時間を確保し、Q&A シートなど、繰り返し学習ができる機会を増やす。 ・定期的に長文に触れる機会を増やす。 ・活動の機会を多く設定する。表現力を伸ばすための工夫の仕方を提示していく。 ・ALT と協力し、表現の機会を確保する。

平成29年度 第2学年 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果

平均正答率	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容		A と B の合計	
	石西中	東京都	石西中	東京都	石西中	東京都
国語	74.9%	73.1%	77.6%	72.4%	75.3%	73.0%
社会	57.6%	56.6%	53.0%	54.9%	56.5%	56.2%
数学	62.4%	60.2%	35.2%	35.3%	54.9%	53.3%
理科	58.7%	57.2%	56.2%	54.6%	58.1%	56.6%
英語	71.3%	65.3%	65.8%	63.7%	70.0%	65.0%

教科	学力調査の課題分析	具体的な授業改善策
国語	<p>関心・意欲・態度は0.1pt上回るにとどまっております。力をさらに伸ばすために、関心・意欲を高める工夫が必要である。また、基礎知識の定着のみならず、発展的な学習を取り入れ、理解をより深めたり、知識を広げたりすることが今後の課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方について助言し、宿題の点検をこまめに行う。 ・授業ノートにメモ欄を設けることで日常的に積極的な聞き手としての技能を身に付けさせる。 ・構成の例を示し、目的や書き方をはっきりと指導する。
社会	<p>合計で都平均よりも0.3pt上回っているが、読み解く力については1.9pt下回った。 観点別では、思考・判断・表現では6.2pt上回るものの、一方において関心・意欲・態度は5.1pt下回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者側が常に社会情勢やニュースに耳を傾け、生徒たちの学習意欲が高まるようなオリジナルティーあふれる問いを準備し、生徒が問題解いてみたくなるような設問を作成したり、図表を活用することで思考が深まるよう改善していく。
数学	<p>読み解く力に関する内容で0.1pt下回っている。観点別では、関心・意欲・態度が2.2pt下回っている。また、読み取る力や解決する力は都平均を大きく下回っている。関心・意欲に課題があるため、理解を深めようとする態度に繋がらず、思考力・判断力・表現力に課題が生じていると考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟で幅広い考え方ができるように、多方向からの解き方を扱う。 ・個々の理解度に応じた発問を心がけ、自らの考えを述べられる機会を多く設けていく。 ・個々に指導が必要な生徒については、机間指導を増やし、教え合い学習を確保していく。
理科	<p>観点別で、解決する力については課題がある。傾向として、習得した知識を活用する問題の正答率が低い。時間経過に伴って学習した内容があいまいになってしまうことで活用に至らない。また、知識を活用する機会（授業）が少ないことが原因として考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理科で学習した知識や技能に関連した自然の事象・現象や科学技術などについて、考えたり説明したりする学習活動を充実させていく。具体的には単元の終わりに、その単元で学習したことと日常生活との関わりについて調べ、考えさせる学習活動の回数を増やす。
英語	<p>書くこと、読むことの領域で、語彙の知識・理解、場面に応じて書く英作文、さまざまな英文の読み取り、長文の読み取りが目標値に対し5pt未満であった。表現については、正答率が6割を下回る。書くことへ苦手意識がある生徒が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の文法項目を活用して、スピーチやスキットなどの発表活動を行う。 ・長文読解では主語と動詞を意識させ、指示語についても意識付けを行っていく。 ・Q & A やチャットをペアで行い、生徒の英語での発話量を増やしていく。

練馬区中学校生徒総合体育大会 新人大会 10～11月の戦績

西中イメージキャラクターニシオくん

バドミントン部(10/8)

男子団体 第5位 (B (第3、4合同) ブロック大会出場 初戦敗退)

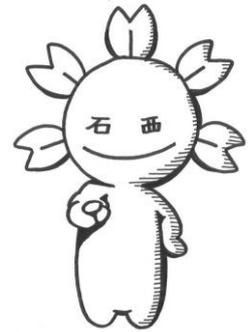
バスケットボール部(10/29)

女子 優勝 (都大会進出)

男子 準優勝 (都大会進出)

卓球部(11/4)

女子個人シングルス 第1位 川村碧子、 第2位 岩崎 泉



各種大会の記録

ソフトテニス部

東京都中学校ソフトテニス新人大会(11/3) 男子団体 ベスト 32

陸上部

第70回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会(10/14,15)

女子共通 200m 第2位 記録 26秒 62 田中美亜

男子 2年 100m 第8位 記録 11秒 88 秋山 陸

GO WOMEN 東京ウィメンズ陸上 2017(11/5)

女子中学 800m 第7位 記録 2分 52秒 62 西田麻沙

第8位 記録 2分 54秒 43 村上千夏

英語劇同好会

The first Toin Cup English Recitation and Speech Contest (9/23)

Incentive Award (奨励賞) 長谷川智哉、今泉太一

第54回練馬区中学校英語学芸会(11/5)に Recitation で出場 (長谷川、今泉)

Recitation - "President Obama's Nobel Peace Prize Acceptance Speech"

GREAT EFFORT (特別賞) 今泉太一

テニス

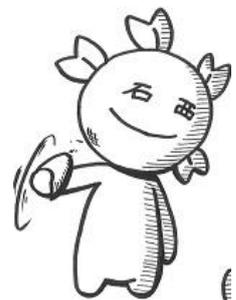
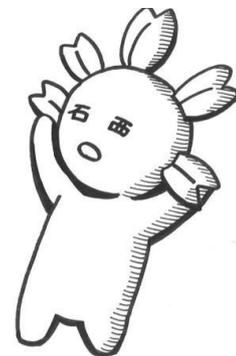
2017 千葉白子ジュニアテニストーナメント 秋(11/6～10)

女子シングルス 8位 2年 A組 小林千陽

その他

練馬区独立70周年記念 第11回 自分で作る朝ごはんコンクール(練馬区中学校教育研究会食育部主催)

70周年特別賞 1年 B組 横手瑚野花 (34校 5,454 作品応募)



お知らせ

○本校の教育活動は学校ホームページで紹介しています。

[検 索](#)

[石神井西中学校](#)



「学校生活」のページに学校日記形式で掲載していますのでぜひご覧ください。(最近の掲載記事例↓)

10月14日 道徳授業地区公開講座	10月18日 句会にJET青年
10月16日 ゲストティーチャーによる道徳授業	10月23日 落語体験 (JET青年)
10月17日 日本文化体験 着付け	11月1日 石西中イメージキャラクター命名